



Jリーグ20周年記念 特別ショートフィルム 『旅するボール』完成 ショートショート フィルムフェスティバル & アジアでプレミア上映

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(以下SSFF & ASIA)は、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(以下Jリーグ)とタイアップして制作したJリーグ20周年記念特別ショートフィルム『旅するボール』の完成発表記者会見を、4月1日(月)、JFAハウスにて行いました。

会見には大東和美Jリーグチェアマン、SSFF & ASIA代表別所哲也、大川五月監督、キャストの西畑澪花さん、中嶋朋子さん、神尾佑さん、平島啓史さんが登壇し、作品にまつわるトークを展開。主題歌「If」を提供しているMONKEY MAJIKのメンバーからのメッセージビデオも届きました。

大東和美Jリーグチェアマンのコメント:

「Jリーグが制作させて頂いたオリジナル作品が完成し、非常に嬉しく思っていると同時に、世界各国で上映され、ご覧になった方々にJリーグが大切にしている理念・メッセージが少しでも伝わればと思っております。」

大川五月監督のコメント:

「この作品を見て、スタジアムみたいな自分を忘れられる場所を見た人それぞれが見つけてもらえればと思います。」

主役を務めた西畑澪花さんのコメント:

「初めて主演をやらせて頂き、一生懸命演じたので是非見て頂きたいです。」

Jリーグ20周年記念特別ショートフィルム『旅するボール』は、5月末～6月上旬開催のSSFF & ASIA 2013でプレミア上映致します。



左: SSFF & ASIA代表別所哲也
右: 大東和美Jリーグチェアマン



『旅するボール』の監督とキャストの方々

■SSFF & ASIAとJリーグ タイアップの経緯

本企画は、Jリーグが記念すべき20周年を迎えるにあたり、日ごろからご支援、ご協力をいただいている皆様にご愛顧の感謝の気持ちを伝えるとともに、設立以来伝え続けてきた、スポーツを通じたより豊かな社会・文化づくりのため、「スポーツの持つ力」を、映像を使って、より多くの方にお届けするために立ち上げられた企画です。SSFF & ASIAでは、2011年よりフットボールを題材とした世界各国のショートフィルムをセレクトし、「フットボールプログラム presented by J.LEAGUE」として上映してきました。

■上映情報

SSFF & ASIA 2013内「フットボールプログラム presented by J.LEAGUE」にて上映

※詳細は別紙資料をご参照ください

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】
ショートショート実行委員会 担当:高橋(080-3082-4936) 川村(090-6033-1285)
TEL:03-5474-8201 / FAX:03-5474-8202 e-mail: press@shortshorts.org

【Jリーグに関するお問い合わせ先】
Jリーグ 広報室 担当:萩原・岩元・米田・藤原 TEL:03-3830-1866 / FAX:03-3830-1910

Jリーグ20周年記念特別ショートフィルム『旅するボール』概要

**大好きなお父さんの元気を取り戻すため、12歳の少女、小雪の旅が始まった—
そのボールに秘めた少女の思いが奇跡を起こす。**



■タイトル 『旅するボール』

- テーマ Jリーグの20周年を象徴する作品とするため、以下の項目をテーマとする。
- ・Jリーグが国内のスポーツ文化に大きな影響を与えた「ホームタウン」という考え方
 - ・創設以来、提唱し続けている「身近にスポーツがあるライフスタイル」
 - ・Jリーグがこれから進出していこうと考えている「海外」

■あらすじ

東日本大震災で甚大な被害に見舞われた東北、宮城県。仮設住宅で両親と暮らす小学生小雪は、ある日、テレビでこんなニュースを目にする。「津波で流されたサッカーボールが5,000キロもの距離を渡って米国・アラスカで発見」地震と津波で家も、思い出の品も失った小雪の家族。父親の勇は職を失い、母の小百合がパートで家計を支える日々を過ごす。「仕事が見つかるまでは」と職探しをしながら家事を手伝う父は、いつしか「楽しむこと」を我慢して、笑顔を失っていた。そんな折に、ニュースを目にした小雪は母に、父が高校時代にサッカー部のみんなからもらった寄せ書きボールを大切にしていたことを聞く。お父さんを喜ばせたい。大好きなお父さんの元気を取り戻すため、小雪は真新しいボールをもって、もう一度寄せ書きをもらうために、故郷をめぐる旅に出る。

- | | |
|-----------------|---|
| ■監督 | : 大川 五月 |
| ■キャスト | : 西畑 滯花
: 中嶋 朋子
: 神尾 佑
: 平島 啓史 |
| ■主題歌アーティスト | : MONKEY MAJIK(モンキーマジック) |
| ■主題歌 | : 「If」 |
| ■作品時間 | : 17分 |
| ■製作概要 | |
| 製作概要製作 | : 公益社団法人日本プロサッカーリーグ |
| 制作管理 | : 株式会社パシフィックボイス |
| 企画協力 | : 株式会社Sente Communications |
| 制作プロダクション | : 株式会社ダブ |
| 製作総指揮 | : 大東 和美 |
| 製作統括 | : 別所 哲也 |
| エグゼクティブ・プロデューサー | : 中西 大介、東野 正剛 |
| プロデューサー | : 守田 弘史、斉藤 冬弓 |
| 共同プロデューサー | : 小泉 晃幸、柴原 祐一 |
| スーパーバイザー | : 首藤 久雄 |
| 特別協力 | : ベガルタ仙台 |

Jリーグ20周年記念特別ショートフィルム『旅するボール』キャスト



● 西畑 澪花 (小雪)

2001年2月16日、千葉県出身。
 小学校4年生の時にスカウトされ事務所に所属。
 東京メトロ、学習塾の広告で活動をスタートし今作品がスクリーンデビューとなる。



● 中嶋 朋子 (小百合)

東京都生まれ。国民的テレビドラマと呼ばれた「北の国から」で22年の長きにわたり螢役を務める。以後、映画、舞台へも活躍の場を広げ、実力派として高い評価を得る。他に、朗読、執筆、講演でも独特の感性を発揮。根強いファンを持つ。エコロジストとしてのやわらかなライフスタイルも注目を集め、そのしなやかな自然観が共感をよんでいる。
 2009年、舞台「ヘンリー六世」(作/ウィリアム・シェイクスピア 演出/鶴山仁)のマーガレット役で、第44回紀伊国屋演劇賞個人賞、第17回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞。現在、東京エフエム「ふんわりの時間」(毎週日曜9時～)、TBSラジオ「文学の扉」(毎週日曜21時～)でパーソナリティーを務める。2013年1月公開予定の映画「東京家族」(山田洋次監督作品)に、金井滋子役で出演する。



● 神尾 佑 (勇)

1970年3月16日生まれ。福島県出身。
 『北区つかこうへい劇団』の1期生として94年から01年まで活動。
 『蒲田行進曲完結編～銀ちゃんが逝く～』(94)でデビュー。
 退団後、『SP』シリーズ(07,10,11/CX)、『仮面ライダーオーズ/OOO』(10/EX)、
 『家政婦のミタ』(11/NTV)などの映像作品でも活躍。最近では、大河ドラマ『八重の桜』
 (13/NHK)、ドラマ『ラストホープ』(13/CX)に出演中、初主演映画『名無しの十字架』
 (13/久保直樹監督)が公開した。



● 平島 啓史 (智雄)

1968年大阪府生まれ。1994年デビュー。芸人として活動する他、サッカーに関する豊富な知識を生かし、サッカー関連のテレビ番組やイベントに多数出演している。現在、テレビ静岡「くさデカ」、スカパー！「Jリーグマッチデーハイライト」にレギュラー出演中。



国内上映／海外映画祭への出品

■国内上映＜プレミア上映＞

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2013内
「フットボールプログラム presented by J.LEAGUE」にて上映

日程・会場

5月23日(木)、24(金)、6月7日(金)、8(土) 会場:東京スカイツリータウン スペース634
5月31日(金)、6月1日(土) オールナイト上映 会場:TOHOシネマズ 六本木ヒルズ
6月1日(土)～6月5日(水) 会場:ラフォーレミュージアム原宿
6月6日(木)～6月8日(土) 会場:表参道ヒルズ スペース オー

ナショナルツアー

6月1日(土)～16日(日) (横浜開催) 会場:ブリリア ショートショート シアター

【ショートショートフィルム フェスティバル & アジア 2013 開催日時】

月日		開催場所					
		スカイツリー	六本木	原宿	表参道	横浜	
5月	23日	(木)	●				
	24日	(金)	●				
	25日	(土)					
	26日	(日)					
	27日	(月)					
	28日	(火)					
	29日	(水)					
	30日	(木)					
6月	31日	(金)		●			
	1日	(土)		●	●		●
	2日	(日)			●		●
	3日	(月)			●		●
	4日	(火)			●		●
	5日	(水)			●		●
	6日	(木)				●	●
	7日	(金)	●			●	●
	8日	(土)	●			●	●
	9日	(日)					●
	10日	(月)					●
	11日	(火)					●
	12日	(水)					●
	13日	(木)					●
	14日	(金)					●
	15日	(土)					●
16日	(日)					●	

上記はSSFF & ASIA 2013全体の開催日程となります。フットボールプログラムの上映詳細につきましては決定次第オフィシャルサイト内でご案内致します。

・SSFF & ASIA 2013 オフィシャルサイト 4月後半アップ予定 (www.shortshorts.org)

・チケット販売に関して

チケットぴあ各店店舗ほか 前売券発売日:5月11日(土)予定

※当日券は映画祭開催期間中、ラフォーレミュージアム原宿、表参道ヒルズ スペースオー、東京スカイツリー(スペース534)の劇場窓口にて販売します。

※オールナイト上映のTOHOシネマズ六本木ヒルズではご利用できません。

■海外映画祭への出品(予定)

カンヌ国際映画祭

トライベッカ国際映画祭

ヴェネチア国際映画祭

ロッテルダム国際映画祭

サンダンス映画祭



ショートショートフィルムフェスティバル & アジアとJリーグの取り組み

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジア

◎米国俳優協会(SAG)の会員でもある、俳優別所哲也が創設者としてスタート

新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、別所哲也が創設者として1999年に東京・原宿で誕生した映画祭。2004年からは、日本作品を含むアジア諸国の作品を紹介する「ショートショートフィルムフェスティバルアジア」を設立し、現在は「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア」(以下SSFF & ASIA)として、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しました。海外映画祭との幅広いネットワークをいかし、日本作品を海外へ向けて発信する活動も、積極的に進んでいます。

◎日本で唯一の米国アカデミー賞公認国際短編映画祭

2004年6月には米国アカデミー賞公認映画祭に認定されるという栄誉を受けました。これにより、本映画祭でグランプリを獲得した映像作家の作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への、架け橋ができたのです。

◎映画『スターウォーズシリーズ』ジョージ・ルーカス監督の応援を14年間受けている映画祭

映画『スターウォーズ』のジョージ・ルーカス監督には、1999年の映画祭設立当初より本映画祭を応援して頂いております。他にも、マーティン・スコセッシ監督や、香港のジョニー・トー監督、『ロスト・イン・トランスレーション』のソフィア・ Coppola監督、幻想的な世界感がハリウッドをも魅了するウォン・カーウアイ監督、『ラン・ローラ・ラン』などのヒット作を産出すドイツのトム・ティクヴァ監督、ジョージ・クルーニー主演『マイレージ・マイライフ』のジェイソン・ライトマン監督など、毎年数多くの著名人から温かい応援メッセージを頂き、映画祭もより一層の盛り上がりを見せています。

■2011年、2012年の活動

◎映画祭の中で「フットボールプログラム」を創設

フットボールをテーマに全世界から収集した作品を「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア」にて上映する「フットボールプログラム」を創設。本プログラムを通じてJリーグが考える「スポーツの持つ力」を、今までとは異なる世界観で多くの方にお伝えしました。2013年も継続して実施いたします。

【上映作品】

2011年『リトルダンサー』『愛を読む人』のスティーブ・ダルドリー監督作品『パパの思い出/ Eight』などの7作品

2012年第84回(2012)米国アカデミー賞短編実写部門ノミネート作品『ペンテコステ/Pentecost』などの8作品

◎Jリーグ公式戦の開催スタジアムでも「フットボールプログラム」作品を上映

フットボールプログラムの中でも特に人気のあった『パンイーFC/Panyee FC』をJリーグの開催スタジアムで上映。

映画祭にご来場いただけないサッカーファン・サポーターにも作品をご覧いただきました。

◎「Jリーグ20周年記念特別ショートフィルム」の製作を発表

Jリーグ20周年を象徴する特別ショートフィルムの製作を2012年6月14日に発表。

特別ショートフィルムの監督は、過去にショートショートフィルムフェスティバル & アジアで入選または受賞した経歴を持つ監督を中心に、企画公募を行い、Jリーグとショートショート実行委員会による選考を経て、大川五月氏を採用することを決定。

